

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成22年6月17日(2010.6.17)

【公開番号】特開2009-182896(P2009-182896A)

【公開日】平成21年8月13日(2009.8.13)

【年通号数】公開・登録公報2009-032

【出願番号】特願2008-22041(P2008-22041)

【国際特許分類】

H 04 Q 9/00 (2006.01)

H 04 N 5/00 (2006.01)

【F I】

H 04 Q 9/00 3 2 1 B

H 04 Q 9/00 3 0 1 D

H 04 Q 9/00 3 4 1 B

H 04 N 5/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月30日(2010.4.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遠隔制御機器および該遠隔制御機器がブロードキャスト送信する直接命令信号を受信する少なくとも1以上の被制御機器とともに遠隔制御システムを構成する電子機器であつて、

上記遠隔制御機器から、当該電子機器および上記1以上の被制御機器に対してブロードキャスト送信される直接命令信号を受信する第1受信部と、

上記被制御機器が上記遠隔制御機器から受信した上記直接命令信号にしたがって生成した間接命令信号を、上記1以上の被制御機器それぞれから受信する第2受信部と、

上記第1受信部によって受信された上記直接命令信号、および、上記第2受信部によって受信された上記1以上の間接命令信号を含む信号グループの中から、応答が必要な本来の命令信号を所定の規則にしたがって1つ選択する信号選択手段を備えている制御部とを備え、

上記制御部は、さらに、

上記直接命令信号または上記間接命令信号に応答して処理を行う命令信号処理部に対して、上記信号グループの中で、上記信号選択手段によって選択されなかった命令信号が供給されないように、上記命令信号をブロックする信号ブロック手段と、

上記第1受信部または上記第2受信部が命令信号を受信したときから経過時間を計測する計時手段と、

上記直接命令信号の受信を送信元の遠隔制御機器に関連付けて管理するとともに、上記間接命令信号の受信を送信元の被制御機器ごとに管理する入力信号管理手段とを備え、

上記入力信号管理手段は、上記計時手段が計時する所定の時間内に受信された各命令信号を同一の信号グループと判断し、

上記信号ブロック手段は、上記計時手段が計時する経過時間が所定の時間に達するまでの期間、上記信号選択手段によって選択されなかった命令信号のブロックを行うことを特徴とする電子機器。

【請求項 2】

上記入力信号管理手段は、

上記計時手段が計時する所定の時間内に、送信元の機器が同一である命令信号が2つ受信された場合に、後で受信された方の命令信号は、先の命令信号が属するのとは異なる信号グループに属すると判断することを特徴とする請求項1に記載の電子機器。

【請求項 3】

上記間接命令信号には、送信元の被制御機器が該間接命令信号に対応する直接命令信号を受信した受信時刻が含まれており、

上記入力信号管理手段は、

上記直接命令信号を上記第1受信部が受信した受信時刻と、上記間接命令信号に含まれる受信時刻とを管理し、

各受信時刻同士が所定の閾値内で近似する場合に、当該受信時刻に受信された各命令信号を同一の信号グループと判断することを特徴とする請求項2に記載の電子機器。

【請求項 4】

上記制御部は、

当該電子機器の処理能力と、上記直接命令信号または上記間接命令信号のデータ量とを少なくとも考慮して求められた予測所要時間に応じて、上記計時手段が計時すべき所定の時間を算出するロック期間算出手段を備えていることを特徴とする請求項1から3までのいずれか1項に記載の電子機器。

【請求項 5】

上記遠隔制御システムには、当該電子機器および上記被制御機器を操作可能な操作信号を出力する操作部が設けられており、

当該電子機器は、上記操作信号を上記操作部より受信する第3受信部を備え、

上記所定の規則とは、

上記操作信号を、常に本来の命令信号として選択する
という規則であり、

上記信号選択手段は、上記規則にしたがって、上記第3受信部によって受信された上記操作信号を本来の命令信号として選択することを特徴とする請求項1から4までのいずれか1項に記載の電子機器。

【請求項 6】

上記制御部は、

上記遠隔制御機器から送信された直接命令信号が、当該電子機器および上記1以上の被制御機器のうち、いずれの機器に宛てられたものであるのかを、上記遠隔制御機器を操作するユーザに問合せて、ユーザからの回答を受け付けるためのダイアログを生成するダイアログ処理手段を備え、

上記信号選択手段は、ダイアログ処理手段を介して受け付けられたユーザの回答に基づいて、本来の命令信号を選択することを特徴とする請求項1から4までのいずれか1項に記載の電子機器。

【請求項 7】

遠隔制御機器および該遠隔制御機器がブロードキャスト送信する直接命令信号を受信する少なくとも1以上の被制御機器とともに遠隔制御システムを構成する電子機器であって、

上記遠隔制御機器から、当該電子機器および上記1以上の被制御機器に対してブロードキャスト送信される直接命令信号を受信する第1受信部と、

上記被制御機器が上記遠隔制御機器から受信した上記直接命令信号にしたがって生成した間接命令信号を、上記1以上の被制御機器それぞれから受信する第2受信部と、

上記第1受信部によって受信された上記直接命令信号、および、上記第2受信部によって受信された上記1以上の間接命令信号を含む信号グループの中から、応答が必要な本来の命令信号を所定の規則にしたがって1つ選択する信号選択手段を備えている制御部と、

当該電子機器が最近応答した命令信号が、上記遠隔制御機器および上記1以上の被制御

機器のうち、いずれの機器から送信されたものであるのかを示す直前動作モードを記憶するモード記憶部とを備え、

上記所定の規則とは、

同一の信号グループに属する命令信号の中で上記直前動作モードが示す機器からの命令信号を選択する

という規則であり、

上記信号選択手段は、上記規則にしたがって、上記直前動作モードが示す機器から受信された命令信号を本来の命令信号として選択することを特徴とする電子機器。

【請求項 8】

遠隔制御機器および該遠隔制御機器がブロードキャスト送信する直接命令信号を受信する少なくとも1以上の被制御機器とともに遠隔制御システムを構成する電子機器であつて、

上記遠隔制御機器から、当該電子機器および上記1以上の被制御機器に対してブロードキャスト送信される直接命令信号を受信する第1受信部と、

上記被制御機器が上記遠隔制御機器から受信した上記直接命令信号にしたがって生成した間接命令信号を、上記1以上の被制御機器それぞれから受信する第2受信部と、

上記第1受信部によって受信された上記直接命令信号、および、上記第2受信部によって受信された上記1以上の間接命令信号を含む信号グループの中から、応答が必要な本来の命令信号を所定の規則にしたがって1つ選択する信号選択手段を備えている制御部とを備え、

上記遠隔制御機器からブロードキャスト送信される直接命令信号には、当該直接命令信号が、当該電子機器および上記1以上の被制御機器のうち、いずれの機器に宛てられたものであるのかを示す機器指定情報が含まれてあり、

上記所定の規則とは、

同一の信号グループに属する命令信号の中で上記機器指定情報が示す機器からの命令信号を選択する

という規則であり、

上記信号選択手段は、上記規則にしたがって、上記機器指定情報が示す機器から受信された命令信号を本来の命令信号として選択することを特徴とする電子機器。

【請求項 9】

遠隔制御機器および該遠隔制御機器がブロードキャスト送信する直接命令信号を受信する少なくとも1以上の被制御機器とともに遠隔制御システムを構成する電子機器であつて、

上記遠隔制御機器から、当該電子機器および上記1以上の被制御機器に対してブロードキャスト送信される直接命令信号を受信する第1受信部と、

上記被制御機器が上記遠隔制御機器から受信した上記直接命令信号にしたがって生成した間接命令信号を、上記1以上の被制御機器それぞれから受信する第2受信部と、

上記第1受信部によって受信された上記直接命令信号、および、上記第2受信部によって受信された上記1以上の間接命令信号を含む信号グループの中から、応答が必要な本来の命令信号を所定の規則にしたがって1つ選択する信号選択手段を備えている制御部とを備え、

上記遠隔制御機器からブロードキャスト送信される直接命令信号には、当該直接命令信号の目的を指定する目的指定情報が含まれてあり、

上記所定の規則とは、

同一の信号グループに属する命令信号の中で上記目的指定情報が示す目的を達成する機器からの命令信号を選択する

という規則であり、

上記信号選択手段は、上記規則にしたがって、上記目的指定情報が示す目的を達成する機器から受信された命令信号を本来の命令信号として選択することを特徴とする電子機器。

。

【請求項 1 0】

遠隔制御機器および該遠隔制御機器がブロードキャスト送信する直接命令信号を受信する少なくとも1以上の被制御機器とともに遠隔制御システムを構成する電子機器であって、

上記遠隔制御システムには、当該電子機器を操作可能な操作信号を出力する操作部が設けられており、

上記遠隔制御機器から、当該電子機器および上記1以上の被制御機器に対してブロードキャスト送信される直接命令信号を受信する第1受信部と、

上記被制御機器が上記遠隔制御機器から受信した上記直接命令信号にしたがって生成した間接命令信号を、上記1以上の被制御機器それぞれから受信する第2受信部と、

上記操作信号を上記操作部より受信する第3受信部と、

上記第1受信部によって受信された上記直接命令信号、および、上記第2受信部によって受信された上記1以上の間接命令信号を含む信号グループの中から、応答が必要な本来の命令信号を所定の規則にしたがって1つ選択する信号選択手段を備えている制御部とを備え、

上記所定の規則とは、

上記第3受信部が受信した上記操作信号が、上記遠隔制御機器からブロードキャスト送信される直接命令信号を受信する動作に関するアプリケーションの起動を指示する信号である場合に、当該電子機器が上記操作信号にしたがって上記アプリケーションを起動している間は、1の信号グループの中の上記遠隔制御機器からの直接命令信号を選択するという規則であり、

上記信号選択手段は、上記規則にしたがって、当該電子機器が上記アプリケーションを起動している間は、上記遠隔制御機器から受信された直接命令信号を本来の命令信号として選択することを特徴とする電子機器。

【請求項 1 1】

上記制御部は、

上記直接命令信号または上記間接命令信号に応答して処理を行う命令信号処理部に対して、上記信号グループの中で、上記信号選択手段によって選択されなかった命令信号が供給されないように、上記命令信号をブロックする信号ブロック手段を備えていることを特徴とする請求項7から10までのいずれか1項に記載の電子機器。

【請求項 1 2】

上記信号ブロック手段は、上記命令信号処理部が、上記信号選択手段によって選択された本来の命令信号を処理している間、選択されなかった命令信号のブロックを行うことを特徴とする請求項11に記載の電子機器。

【請求項 1 3】

上記制御部は、さらに、

上記第1受信部または上記第2受信部が命令信号を受信したときから経過時間を計測する計時手段を備え、

上記信号ブロック手段は、上記計時手段が計時する経過時間が所定の時間に達するまでの期間、上記信号選択手段によって選択されなかった命令信号のブロックを行い、

上記制御部は、さらに、

当該電子機器の処理能力と、上記直接命令信号または上記間接命令信号のデータ量とを少なくとも考慮して求められた予測所要時間に応じて、上記計時手段が計時すべき上記所定の時間を算出するブロック期間算出手段を備えていることを特徴とする請求項11に記載の電子機器。

【請求項 1 4】

当該電子機器は、映像信号を表示部に出力する映像表示装置であって、

上記制御部は、

上記直接命令信号および上記1以上の間接命令信号のうちのいずれかの命令信号にしたがって映像信号を生成する映像信号生成手段を備え、

上記信号ブロック手段は、

上記信号グループの中で、上記信号選択手段によって選択されなかった命令信号が上記映像信号生成手段に供給されないように、上記命令信号をブロックすることを特徴とする請求項1～6、および、11～13のいずれか1項に記載の電子機器。

【請求項15】

上記直接命令信号は、画像を格納する画像領域と、上記電子機器または上記被制御機器に特定の動作を実行させるための命令である処理指定情報を格納するメタデータ領域とを含んで構成された画像データであり、

上記間接命令信号は、上記画像を表示部に表示するための映像信号と当該映像信号に入力を切り換えるよう当該電子機器に要求する信号とを含み、

上記映像信号生成手段は、上記信号選択手段の選択に応じて、

(1) 上記直接命令信号に含まれる処理指定情報をしたがって処理を実行した結果を映像信号として出力する動作

(2) 上記間接命令信号にしたがって上記画像の映像信号を出力する動作のいずれかを実行することを特徴とする請求項14に記載の電子機器。

【請求項16】

遠隔制御機器と、

該遠隔制御機器がブロードキャスト送信する直接命令信号を受信する少なくとも1以上の被制御機器と、

請求項1から15までのいずれか1項に記載の電子機器とを含むことを特徴とする遠隔制御システム。

【請求項17】

遠隔制御機器および該遠隔制御機器がブロードキャスト送信する直接命令信号を受信する少なくとも1以上の被制御機器とともに遠隔制御システムを構成する電子機器における信号処理方法であって、

上記遠隔制御機器から、上記電子機器および上記1以上の被制御機器に対してブロードキャスト送信される直接命令信号を受信する直接命令信号受信ステップと、

上記被制御機器が上記遠隔制御機器から受信した上記直接命令信号にしたがって生成した間接命令信号を、上記1以上の被制御機器それぞれから受信する間接命令信号受信ステップと、

上記直接命令信号受信ステップまたは上記間接命令信号受信ステップにて命令信号を受信したときから経過時間を計測する計時ステップと、

上記直接命令信号の受信を送信元の遠隔制御機器に関連付けて管理するとともに、上記間接命令信号の受信を送信元の被制御機器ごとに管理する入力信号管理ステップと、

上記直接命令信号受信ステップにて受信された上記直接命令信号、および、上記間接命令信号受信ステップにて受信された上記1以上の間接命令信号を含む信号グループの中から、応答が必要な本来の命令信号を所定の規則にしたがって1つ選択する信号選択ステップと、

上記直接命令信号または上記間接命令信号に応答して処理を行う命令信号処理部に対して、上記信号グループの中で、上記信号選択ステップにて選択されなかった命令信号が供給されないように、上記命令信号をブロックする信号ブロックステップとを含み、

上記入力信号管理ステップでは、上記計時ステップにて計時される所定の時間内に受信された各命令信号を同一の信号グループと判断し、

上記信号ブロックステップでは、上記計時ステップにて計時される経過時間が所定の時間に達するまでの期間、上記信号選択ステップにて選択されなかった命令信号のブロックを行うことを特徴とする信号処理方法。

【請求項18】

コンピュータを、請求項1から15までのいずれか1項に記載の電子機器の制御部の各手段として機能させるための信号処理制御プログラム。

【請求項19】

請求項 1 8 に記載の信号処理制御プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。